

お楽しみ会



メリ〜クリスマス!!!今年のクリスマス会は25日!!!クリスマスの日に行われました。保育室のかわいい子ども達による、ハンドベルの演奏からスタート。大人顔負けの演奏にビックリ!とっても上手でした。前回は好評だった、職員による楽器の演奏会、赤鼻のトナカイでは口ずさむ患者さんや体を左右に揺らしながら聴く患者さん、皆さんそれぞれ楽しんでいました。

最後はサンタさんの登場!院内中にクリスマスの音楽が流れる雰囲気の中、患者さん全員のお部屋にサンタさんがプレゼントを渡しに登場しました!突然の嬉しい訪問に皆様ニコリ。あまりの嬉しさにビックリする方や涙ぐむ方、サンタさんと握手する方も。サンタさんから手渡しでプレゼントを直接受け取り、皆さん一人ひとりとプレゼントを大切にしました。そんな和やかな光景を見て私たち職員も幸せな気分が過ごることが出来ました。

〜。1年に一度のイベントは成功です。素敵な一日をありがとうございました! ボランティアレクリエーション委員会一同



December
12月25日
院内
クリスマス会



お琴演奏会

January

1月2日

外部ボランティアさんによるお琴の演奏会がおこなわれました。本格的なお琴を目の前にして、初めて生演奏を聴く方も多く、迫力のある弦の音に前めりになりながら皆さん演奏を聴いていました。途中、懐かしい音楽に涙を流す方も多くみられ、一人ひとり思い出に入り込まれていたようです。ぜひまた日本の伝統楽器 琴の演奏を聴きたいものです。 ボランティアレクリエーション委員会一同



ひなまつり カラオケ大会

February

2月26日

3月直前にして春の訪れが待ち遠しいですがまだまだ寒いものです。寒い日は丸まっていたいものですが、本日はカラオケで元気に皆さんで声を出していただきました。歌う方は緊張しながらも一生懸命歌っていました。最初の内は聞き役だった歌わない方も、懐かしい音楽が続くうちに一緒に口ずさんでおりました。最後に、勇気ある職員の方のカラオケ演出。心のこもった演出はお見事!! 歓声や拍手がみられ、みなさん盛り上がっていました。歌っている間に、体はボカボカ。最後に北国の春を歌い、楽しいカラオケ時間はおしまい。皆さん笑顔でまたやりたいたい!!とお話していました。 ボランティアレクリエーション委員会一同



平成25年5月から上尾市個別検診・特定健診・後期高齢者健診・上尾市人間ドックを予約制にて開始いたします

- ・当日の健診受付順番は、予約の方を優先させていただきます。ご予約なく健診を希望される場合、待ち時間が長くなる可能性があります。あらかじめご了承下さい。
- ・本年度の各種健診は、終了期間が早まる為、早めの受診をお勧めいたします。

【実施日時】

受付時間	月	火	水	木	金
ドック 8:40 9:00	○	△	○	○	○
健診 9:00~ 11:30	○	△	○	○	○
13:00~ 15:30	○	△	○	○	○



- *午後の医師診察は13:30からとなります。
- *火・土・日曜日・祝日の実施はありません。

5月1日~10月31日・上尾市特定健診・後期高齢者健診
5月1日~11月30日・大腸がん・前立腺がん・肝炎ウイルス検診
20~30歳代ヘルスチェック・一般健康診査
5月1日~平成26年2月28日・上尾市人間ドック

- *骨粗鬆症検診は、本年度は実施出来ませんので、ご了承ください。
- *個人健診・企業健診・生活習慣病健診・特定保健指導は完全予約制となります。
- *今年度から高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用が、一部助成されることになりました。

【実施検査追加のご案内】
オプション検査から、下記3種類が単独実施可能となりました。ぜひご利用下さい。
①ヒロリ菌検査(便) ②便潜血検査(大腸がん、2日法)
③胸部レントゲン検査

医事課 048-781-1101(代表)
健診担当 048-781-1902(直通)



オアシス

OASIS

2013年 春号

医療法人一心会 上尾睦生病院 季刊誌 ■ HP <http://www.agekousei.jp/> TEL: 048-781-1101

上尾睦生病院 理念

私たちは、良質で安全な医療と療養環境を提供致します。

看護部長 貝瀬 澄子



新看護部長就任のご挨拶

若葉の香りとともに春がやってまいりました。昨年11月、上尾睦生病院の看護部長として就任いたしました貝瀬と申します。

私は上尾中央看護専門学校で基礎教育に20年、協議会看護局で臨床教育の企画・運営を2年半担当し久しぶりに臨床の現場に復帰することになりました。

臨床の現場では看護・介護の質の向上はもちろんのこと、人材確保と育成、労働環境の改善、診療報酬改定への対応など沢山の課題があり、日々変化する医療情勢に対応してゆくことの責任の重さを感じております。

上尾睦生病院に足を踏み入れた時、初めて感じたのは、とても穏やかで温かいものでした。「この感覚は、どこからやってくるのだろうか?」と思いながら院内を廻っていると、床やドアの配色、カーテンの柄など、そこには患者様やご家族を大切に作る心温まる配慮がありました。また、何よりも緊張しながら挨拶回りをしている私を温かく迎えてくださった、職員の皆様からの笑顔と挨拶がその空間を作っているのを感じたのです。さらに、職員の中に教え子でもある看護学校の卒業生が元気で頑張っている姿を見た時は本当に嬉しく、これから一緒に頑張っていきたいと思ったことを今でも忘れることができません。

当院の看護部理念は、「良質で安全な看護・介護及び療養環境の提供」です。この理念を受け、今年度、看護・介護の質の向上のために、看護職で

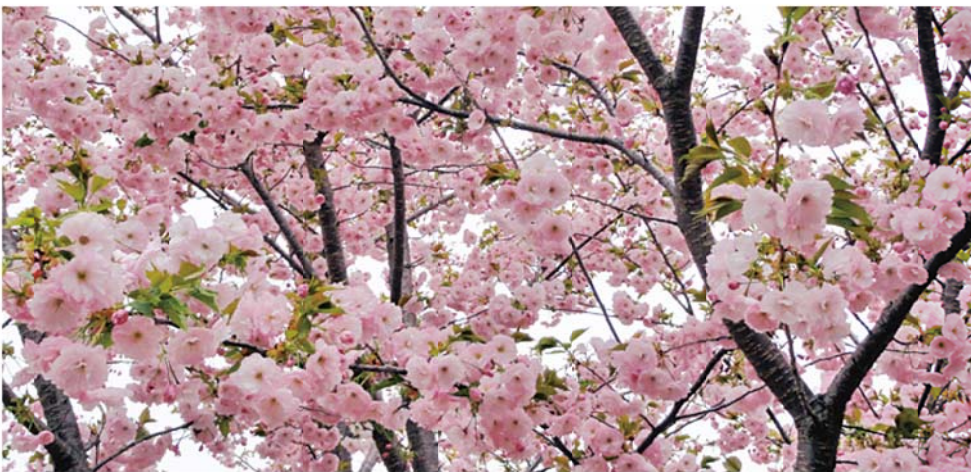
は「患者様の安全」を、介護職では「生活が楽しめる環境作り」を目標に、お互いの役割を明確にしながら責任をもって看護・介護ができるよう、業務整理と研修を企画していきたいと考えております。

平成22年4月、厚生労働省から新人看護職員研修制度が努力義務化され、当院でも平成24年から導入いたしました。今年は新人だけでなく、看護・介護職のラダーを見直し、育成研修を企画していきます。また、人員確保の一環として復職支援や、中途入職者研修の充実を図ってまいります。そして看護・介護職員のキャリアアップや、やりがいを持つような職場環境を整えていきたいと思っております。

平成23年に回復期病棟が開設され1年が経過し、患者様の社会復帰に大きく貢献できるようになったのは、リハビリ部門を始め、多くの職員の皆様のご努力のお陰と心より感謝致しております。今年は患者様のニーズに、より一層対応できるよう、地域連携室に退院調整看護師を設け、リハビリ部門との連携を強化し在宅復帰率を高めていきたいと考えております。

AMG(上尾中央医療グループ)の掲げる「愛し愛される病院」の理念を胸に、患者様やご家族の方々だけでなく、地域の皆様にも貢献していきたいと思っております。

これからもご指導ご鞭撻、よろしくお願致します。



AMG職種別合同学会に参加して

2月3日(日)に開催された看護、リハビリの合同による第1回職種別合同学会に参加してきました。グループ内の他の施設や職種の違う皆さんの日頃の成果を間近で知ることができて、有意義な時間となりました。

東北大学病院の石井先生による特別講演では、「石巻医療圏における東日本大震災への対応」という貴重なお話を聞くことができました。まだまだ記憶に新しい東日本大震災ですが、被災地での医療活動の困難さに加え、医療者もまた被災者であるという現実の中でのご活躍には、頭の下がる思いでいっぱいでした。もし自分が被災者になった時、医療者としてどのような行動すればいいのかを考える良い機会となりました。

4階 主任看護師 神藤 美佐栄

襷に思いを乗せて!

穏やかに晴れた2月10日、上尾運動公園陸上競技場で開催された第31回上尾市民駅伝競走大会に今年も参加しました。競技場のメインスタンド前を基点に周辺道路を回って戻る同一コースで襷を繋ぎますが、一周(区間)には時間制限が課せられます。

我が上尾睦生病院アスリートクラブは冬の冷気の中、制限時間と戦いながらもスタンドや沿道の皆さんからの声援に後押しされ、無事に襷を繋ぎきり一般参加37チーム中23位でゴールすることができました。ご声援ありがとうございました。

駅伝競走は皆で一本の襷を繋ぐという日本伝統の競技の通り、一人ひとりの結果以上にチームの絆や仲間ノ気持ちを実感することのできた一日となりました。これからも襷にチームの思いを乗せて上位を目指して走りしたいと思います。



薬剤部 薬剤師 松本 賢志

編集後記

■この冬は雪が多く寒かったせいで、よりいっそう待ち遠しかった春の訪れとなりました。皆様いかがお過ごしですか。毎年、職員や患者様の楽しみのひとつとなっている玄関前の大きな桜の木も、いつになくきれいな花を咲かせてくれました。新年度となり、フレッシュな新スタッフを迎えたところで、私たちが新たな気持ちで頑張ってまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

広報委員 MSW 石川 智美

私たちは言語聴覚士です。

円滑なコミュニケーションの獲得に向けて!

脳卒中(脳出血や脳梗塞などの脳血管障害)と診断され、構音障害や高次脳機能障害を起こすと、話すことや話を理解することが難しくなることがあります。そのような場合、本人又は接する方々は、コミュニケーションが取りづらいつと感じることになります。

今回は、コミュニケーション障害を引き起こす言語障害の一部を簡単にご紹介します。

■ 構音障害とは?

発声発語器官が障害され、言葉を正しく、明瞭に、発音できない障害のことを指します。

- 口唇や舌の動きが悪くなり発音が不明瞭になる
- 声の大きさ、高さ、発声の持続時間に異常が起きる
- 発話速度やリズムが変化する …など

■ 失語症とは?

一度獲得された正常な言語機能が、大脳の言語領野が脳血管障害により損傷され、聞く、話す、読む、書く、などの機能に障害が起きた状態のことです

- 目の前にあるものの名前を思い出せない
- 聞いたり読んだりしたことの意味が分からない
- 言葉や文字を誤っても気づかない …など

コミュニケーション障害を起こした場合の対応について

コミュニケーション能力とは、言葉・書字・ジェスチャー・表情・記号など様々な伝達手段があります。通常、音声言語によるコミュニケーションが一般的ですが、その方々に合ったコミュニケーション手段を工夫する必要があります。

① 構音障害の場合

- 短く、ゆっくり言ってもらう
- はい、いいえで答えられる質問にする
- 筆談を行う ● 五十音表や透明文字盤の活用

② 失語症の場合

- 短く、簡単な言葉で問いかける
- はい、いいえで答えられる質問にする
- 実物、絵や写真を示す(例:コミュニケーションノートの使用)



コミュニケーションが円滑に取れないと日常生活が制約されてしまいますが、周囲の方々が歩み寄って「何を話されているのだろう」と推測されるなどのちょっとした心遣いや工夫をしていただくと、構音障害や失語症の方にとってコミュニケーションをとるのが楽になります。

何か不安なことなどありましたら、遠慮なくリハビリテーション科にご相談ください。

リハビリテーション科 言語聴覚士 石丸 絢